

障害のある人に対する意識について

名古屋市では、平成16年4月に「障害者基本計画」を策定し、「障害のある人もない人もお互いに人権を認め合い、共に生きる社会」の実現に向けて取り組みを進めています。

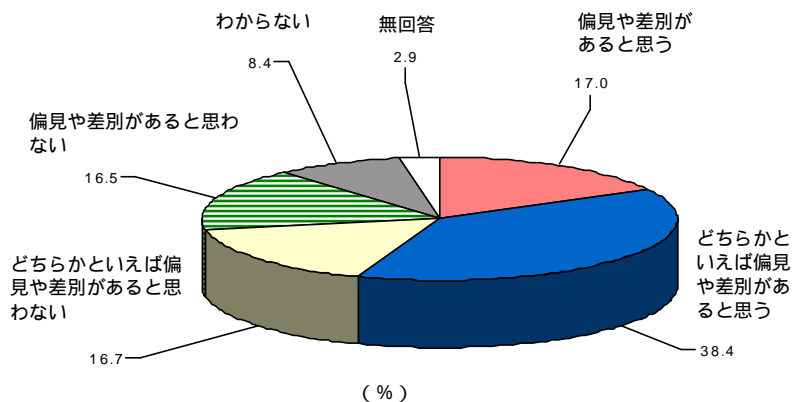
今回、市民の皆さまの、障害のある人に対する意識などをおたずねし、今後の啓発活動の参考とさせていただくものです。

各図表の「N」は、回答者総数を表しています。

最近では、マスコミ等で障害者の活動や日常生活上の課題などが取り上げられることが多くなってきていることなどから、障害者に対する理解は広がりつつありますが、依然として、差別や偏見が日常の中に存在しています。

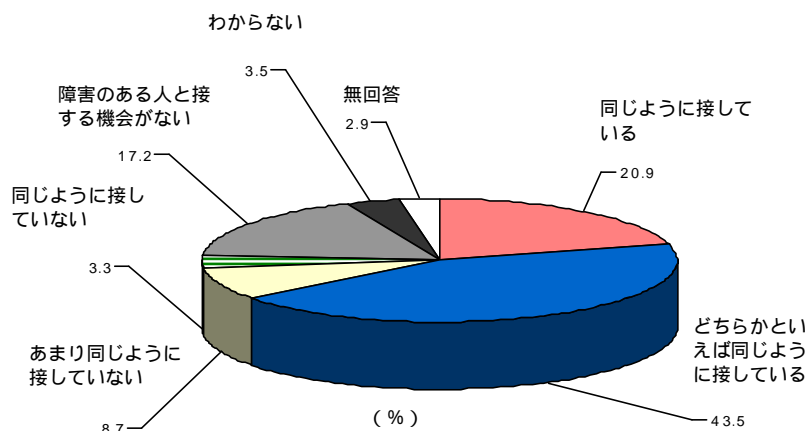
問27 あなたの身近では、「障害のある人」に対しての偏見や差別があると思いますか。
(は1つだけ)

N = 1,030



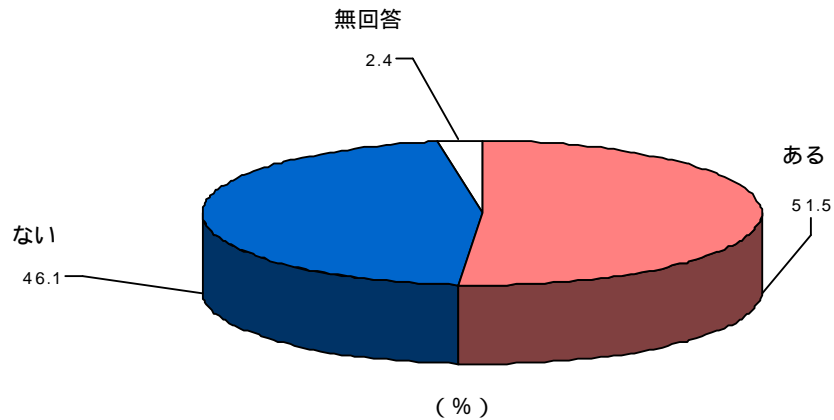
問28 あなたは、「障害のある人」に対して、「障害のない人」と同じように接していますか。
(は1つだけ)

N = 1,030



問29 あなたは地域の中で、障害のある人が困っているときなどに、話しかけたり手を貸したりしたことがありますか。(身内の障害のある人に対してや仕事として行った場合を除く)(は1つだけ)

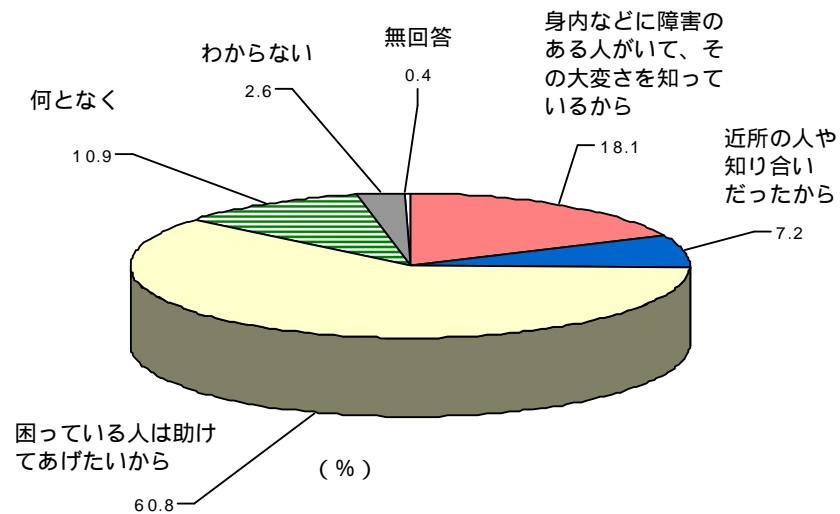
N = 1,030



問29で1と答えた方(話しかけたり手を貸したりしたことがある方)におたずねします。

問30 障害のある人に、話しかけたり手を貸したりしたのは、主にどういう気持ちからですか。(は1つだけ)

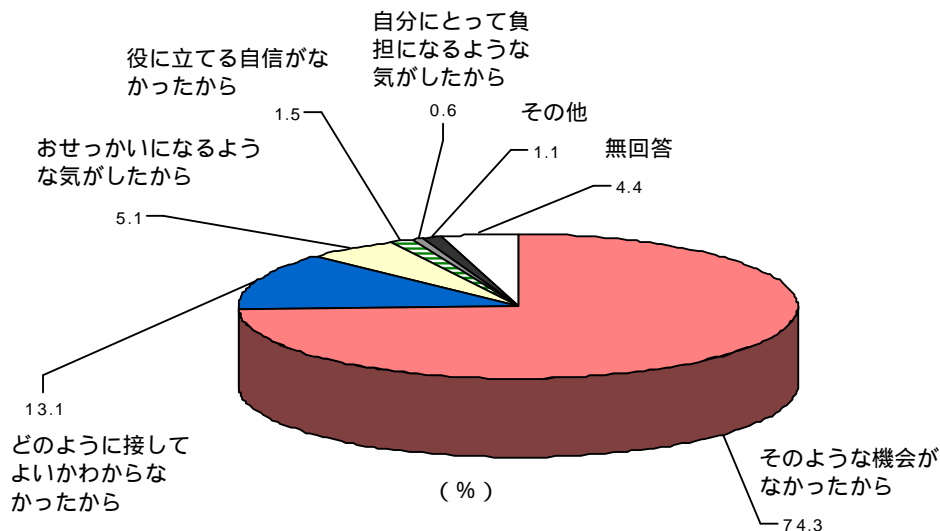
N = 530



問29で2と答えた方（話しかけたり手を貸したりしたことがない方）におたずねします。

問31 障害のある人に、話しかけたり手を貸したりしたことがないのは、主にどのような気持ちからですか。（は1つだけ）

N = 475



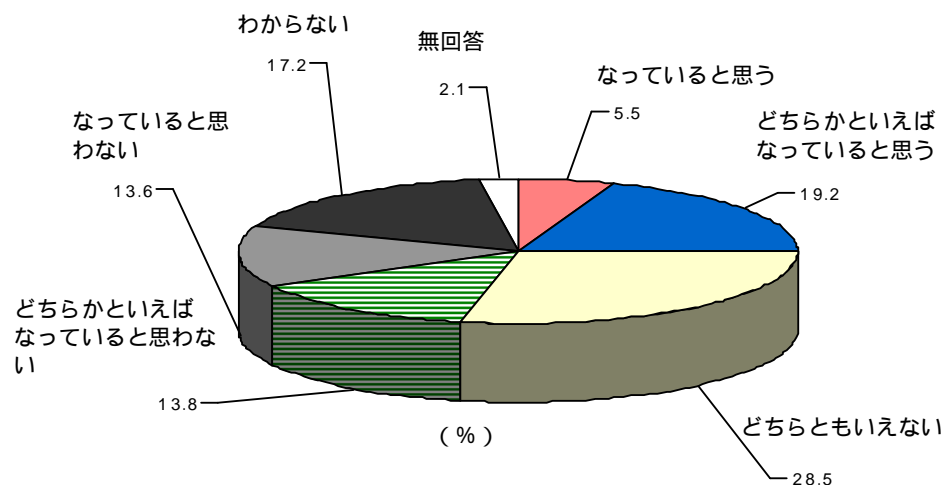
すべての方におたずねします。

名古屋市が目指す「障害のある人もない人もお互いに人権を認め合い、共に生きる社会」とは、障害のある人が、障害のない人と対等な構成員として人権を尊重されるとともに、自らの選択と決定によって「自らの望む暮らし方」ができ、障害のある人があらゆる活動に参加し、その役割と責任を積極的に果たすことができる社会です。

その実現のためには、障害のある人を取り巻く社会環境を整え、改善を図ることが求められます。

問32 あなたは、現在の名古屋市が「障害のある人もない人もお互いに人権を認め合い、共に生きる社会」になっていると思いますか。（は1つだけ）

N = 1,030



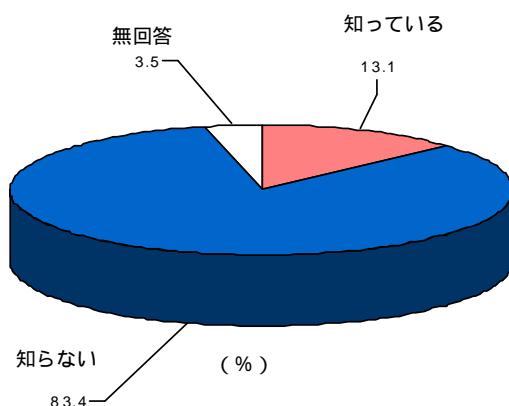
毎年12月3日～9日の1週間は「障害者週間」と定められています。

この「障害者週間」は国の「障害者基本法」で、みなさまに広く障害のある人の福祉についての関心と理解を深めていただくとともに、障害のある人が社会、経済、文化その他のあらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めていただくために設けられました。

名古屋市では、「障害者週間」に講演やシンポジウムなどの啓発行事を行っています。

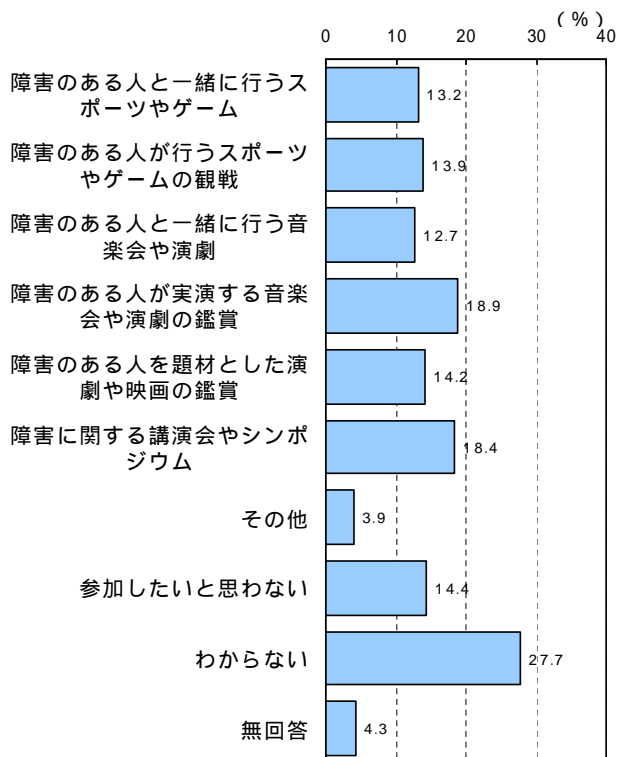
問33 あなたは、「障害者週間」をご存じですか。(は1つだけ)

N = 1,030



問34 あなたが「障害」や「障害のある人」に対する理解を深めるために、参加したいと思う啓発事業は何ですか。(はいくつでも)

N = 1,030



問35 「障害のある人もない人もお互いに人権を認め合い、共に生きる社会」の実現に向けて、今後、名古屋市が、特に力をいれるべきだと思うことは何ですか。(は3つまで)

N = 1,030

